

# 「まちづくり検討会（宮古市田老地区）」の開催！

都市計画課

「笑顔と希望あふれるふるさと再生事業」（マル130プロジェクト）の一環として、宮古市田老地区で実施中の防災集団移転促進事業で造成される乙部地区高台団地をフィールドとして「まちづくり検討会」及び「まちづくりセミナー」を開催しました。

## 1 「笑顔と希望あふれるふるさと再生事業」の趣旨

地域らしい“景観”と親しみのある“ふるさと”再生のため、そこに住む予定の方々と「暮らし」について議論し、基盤整備と実際の暮らし・生活が調和するようなまちづくりを目指す。

また、この取組みを通じて、被災された方々が「ふるさとに住み続けたい」と考え、復興に携わる人々が「復興して良かった」と思えるような、“ふるさと”の再生につなげていくもの。

## 2 開催状況

	開催日	テーマ
第1回	H26.11.15	田老地区のこれまでの暮らし振りについて
セミナー	H26.12.14	暮らしを築いていくためのポイントについて
第2回	H27. 1.24	「暮らしの場面」について意見交換
第3回	H27. 2.21	「デザインガイド(素案)」に対する意見交換
第4回	H27. 3.14	検討会及びセミナーを通して取りまとめた「景観と暮らしのデザインガイド」とこれからの取組みについて

## 3 今回のまちづくり検討会等における学識経験者

三宅 諭 国立大学法人岩手大学 農学部 准教授

渡辺 敏男 NPO 法人いわて景観まちづくりセンター代表理事

(まちづくりセミナー講師)

竹田 彰 奥尻島津波語りべ隊 (元奥尻町職員)

定池 祐季 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任助教

## 4 今後の取組み

都市計画課では、これら検討会における視点や手法、また、プロセス等を取りまとめ、昨年度実施した野田村城内地区高台団地「まちづくり検討会」の結果と併せ、各市町村で実施されている復興まちづくり等の指針となる「景観と暮らしのデザインガイド」を作成し、良好な景観形成等の取組みが促進されるよう広く発信・普及させていくこととしています。

まちづくり検討会の様子



まちづくりセミナーの様子

